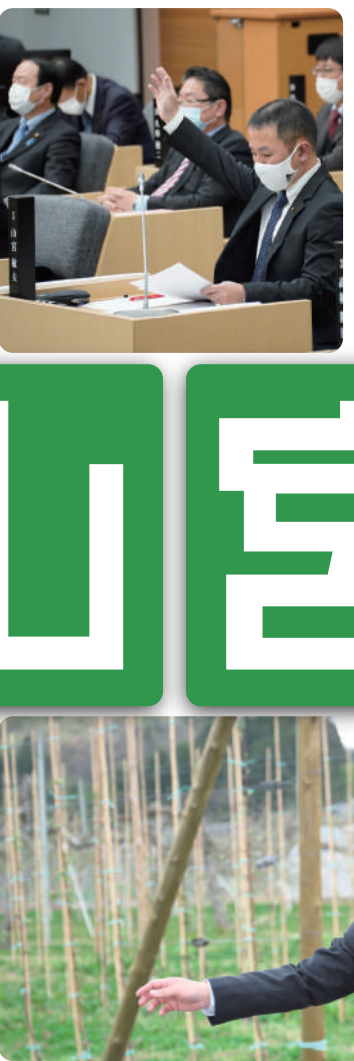
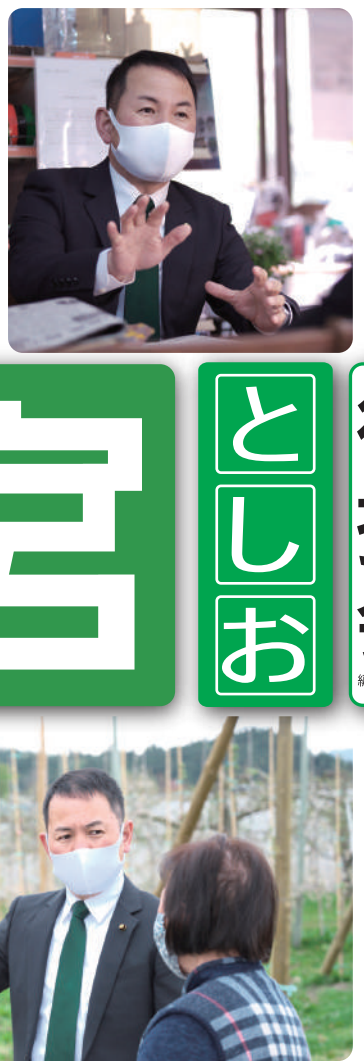




山宮としお

後援会報誌
後援会誌

後援会会報
令和4年
11月号

Q.1

今後のまちづくりについて

・地域の特色を生かしたまちづくりについて

① 平成の大合併から現在に至る市民感情について

地域の特色を生かしたまちづくりについて、平成の大合併から現在に至る市民感情について、市民との対話を大切に、様々な意見をいただく中で、理解に努めているところであり、

この先、利根沼田が生かされていくために何を果たすべきか、一市二村が、合併当時、悩まされた答えが、観光や農業を軸とする「水と緑の大地田園空間都市」でした。

今でもその方向性は間違っていないと考えています。そして、予想を超える速さで人口の減少が進む中、住民が立ち上がるべきであり、仮に地域の協議会を立ち上げても、魂が入っていないければ、上手くいくことはありません。

地域の活力を取り戻すため、今、進めている地域づくりに魂を吹き込むことが、何より大切であると考えています。

合併に対する市民感情把握のためのアンケートは実施していない
住民サービスなど小さいターゲットに絞ったアンケートは都度、実施している
財務的なものは厳しいものになっている
国の財務規制が厳しくなり、タイミング的に様々な事を行うのに難しくなった

地域の活力を求めていく形を作りたい
任意での地域協議会で声を上げられる場を
組み立てる。地区毎に進めていく

② 白沢町・利根町の今後について

令和二年に策定した、第二次市政改革大綱に基づき、地域の特色を生かしながら、地域の課題に効果的、効率的に対応するため、住民や地域が主体となった共助による取組を支援し、市民と行政とのパートナーシップによるまちづくりを推進しております。

現在、利根・池田・薄根・川田の四地区をモデル地区として、地域自治を推進するための活動を行っているところですが、今年度、その活動を白沢町・利根町にも広げるため、地域講演会やパネルディスカッション、事例発表会を開催しております。

任意での地域協議会を組み立てて、
地域づくりを行っていきたい
地域住民の声が上がるのが必須であり、それを元に活性化させたい
雇用の場の創出を市全体で行いつつ、農村部としての産業と伝統・文化を守り続けられるようにしたい

Q.3

安心安全なまちづくりについて

・沼田市地域防災計画について

① 令和3年度の修正内容及び現状を踏まえた市民への周知徹底について

市民への周知徹底について

安心安全なまちづくりについて、沼田市地域防災計画について、令和3年度の修正内容及び現状を踏まえた市民への周知徹底について、であります。沼田市地域防災計画は、災害対策基本法に基づき、沼田市防災会議が策定するものであり、市民の生命、身体及び財産を災害から守ることを目的として、今回の修正は、災害対策基本法の改正と群馬県地域防災計画の修正内容との整合を図るために行いました。

計画に対しては、パブリックコメントを行い、市ホームページ等の様々な広報媒体で公表し、市民への周知に努めているところであります。

・防災講座、各地域の区長からの情報周知徹底
・地域消防団を中心とした防災訓練の実施は有効と考え、検討課題としていく

② ライフラインの確保について

ライフラインの確保について、であります。災害時に発生するライフラインの確保は、安全確認、住民の避難、救命・救助等の緊急対策活動などに関わるものであり、迅速な復旧に際する最も優先すべきものの一つであると認識しております。

そうしたことから、ライフライン関係事業者とは、防災協定を締結しており、日頃から連携を密にして、顔の見える関係づくりに努めているところであります。

・復旧における優先順は現状ない。
できることから対応していく。
・協定を結んでいる事業者と密にしていく
・樹木が送電線に接触して起こる停電を未然に防ぐ必要があるため、周辺木々の伐採を積極的に行う必要を認識して検討課題とする

Q.2

沼田市における市職員の管理について

・沼田市役所関連における労務管理について

① 本庁、出先機関に関する勤怠管理について

沼田市における市職員の管理について、沼田市役所関連における労務管理について、本庁、出先機関に関する勤怠管理について、であります。地方公務員につきましては、法令に基づき労務管理が行われており、専ら、所属長が、配下職員の労務管理に当たっております。

また、本市においては、本庁、出先機関に関わらず、令和三年度に勤怠管理システムを導入し、職員の出勤退勤時刻、時間外勤務、休暇取得状況等を一元的に管理し、労務管理の効率化及び適正化に努めているところであります。

現在の勤怠管理はPCソフトで行っており、
個人毎の勤怠情報は一元化できる
・修正等は当該本人と直属の管理者のみが行える
・管理職の時間外労働…七月の平均十一時間
最大六十時間、休日出勤四十時間

Q.4

自然環境を生かした これからの観光について

・自然環境、森林資源の観光活用について

① 自然環境を生かしたスポーツ観光について

自然環境を生かしたこれからの観光について、自然環境、森林資源の観光活用について、自然環境を生かしたスポーツ観光について、であります。本市には、大きな魅力である自然があり、この環境を活かしたスポーツイベント開催による観光誘客は、本市への交流人口や観光消費の増加が期待でき、PRにもつながるものと考えております。

また、首都圏からも二時間圏内という立地でもあり、豊かな自然の中で大会の開催は魅力的なものであることから、経済効果も含め、大会運営を担う団体等についての把握など、総合的に研究してまいりたいと考えております。

・案件的には興味深く、可能な限りの体制で対応していきたい
・市長として、受け入れられるものは可否を含め積極的に協議したい
・古くからの利根沼田地域の中心であり、歴史も踏まえ、連携をしていきたいと考える
・閉鎖以降も土砂災害の危険もあり、調査は難航しているのが現状である

② 道路交通法改正に伴う酒気帯び管理 及びアルコール検知器の使用について

道路交通法改正に伴う酒気帯び管理及びアルコール検知器の使用について、であります。道路交通法施行規則の一部改正に伴い、令和四年四月一日から、職員が業務で自動車運転を行う場合、その前後に、他の職員の目視等によって、酒気帯びの有無を確認しております。

なお、本年十月一日からは、この外に、対面アルコール検知器を用いることにより、より厳正に運転する職員の酒気帯びの有無を確認してまいります。

② 利根沼田広域連携について

現在、沼田商工会議所を中心とした利根沼田広域観光連携協議会が組織され、行政だけでなく商工会、各観光協会等、民間と一体となり利根沼田地域の観光を盛り上げる事業を展開しているところであります。本市も特別会員として協力関係にあります。

また、利根沼田行政事務所と各市町村関係団体が組織する「利根沼田エリアツーリズム推進委員会」が、利根沼田エリアでコースを設定し、アップダウンのある各コースの走行により獲得した標高を累計し、記念品などをもらえる「ツール・ド・一万アップキャンペーン」を開催しており、地域内での消費拡大や利根沼田観光のPRなどを目的に開催しているところであります。

③ 栗原川林道の整備について

栗原川林道は、利根町追分地区と根利地区を結ぶ道路で、平均幅員約三・五m、延長は約三十八kmであります。国が管理する国有林の林道ではありますが、日本百名山である皇海山登山の進入路でもあり、登山客を中心とした観光客誘致による地域振興などを目的として、国と併用協定を締結し、今度市道として、本市が維持管理を行うことになりました。

豪雨による落石や路肩崩壊等の災害が度々発生し、その都度、整備しながら通行の確保を行ってまいりましたが、度重なる台風や大雨により被害が増加したため、安全な通行確保が図れないと判断し、令和二年三月から一部区間、延長約三十四kmを全面通行止めとしております。再開通を求める請願が提出され、開通を望む声も多くありますが、法面の大規模な崩落も確認されており、道路管理者として、安全性を確保しての再開通には、復旧工事と大規模な整備工事が必要となることから、国への支援要請も行ってまいりましたが、非常に厳しい状況であると考えております。

要望・陳情

住民の皆様から相談いただいている要望・陳情の状況を、紹介致します。

相談①

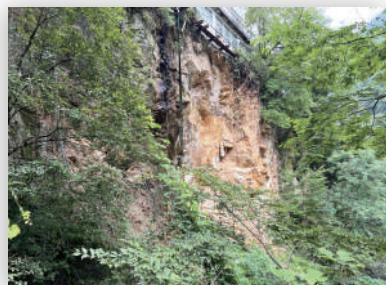
老神地区片品川 壁面崩落問題

老神温泉郷に沿って流れている片品川側崖の壁面が崩落しており、今後も新たな崩落が起きそうであり、崖・壁面の経年劣化による崩落や近年、多発している地震による地盤崩壊による崩落などが懸念されており、近隣関係者の皆様より「崖崩落防止措置及び安全対策の実施」の要望をいただいている。

地域関係者から群馬県に金井康夫県議会議員を通じて、安全対策の実施要望を行ったが、当該部が群馬県の管轄ではないため対応が難しい。横山前市長時代に国交省へ安全対策を要望したが、当該部は片品川の下流にある園原ダムの管轄外であり、かつ、民有地との判断であり、ダム管理に支障がないため国としての対策はできない。沼田市としても民有地にかかるエリアとなるため対応が難しく、現在も関係者が民有地の所有者と調整を行っている。

RESEARCH

状況確認のため当該崩落部を片品川を挟んで対岸から目視確認を行ったが、やはり距離的な問題で細かい状況は把握できなかった。このため老神温泉の源泉管理通路（関係者のみ）を借りて下方部からの確認とドローンを飛行させての撮影を行い、細かな状況の調査作業を行った。



崩落部を下側から撮影



崩落部をドローンにて撮影 ①



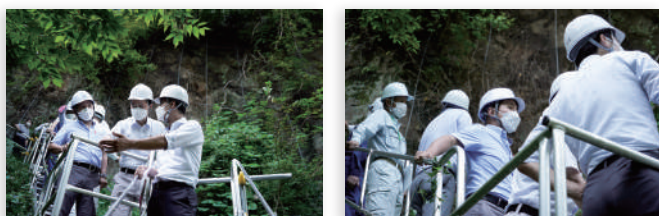
崩落部をドローンにて撮影 ②

INSPECTION

どの行政担当も対応が出来ないのでは安全で安心な暮らしはできないので、関係者と調整を行い、中曽根隆衆議院議員、清水真人参議院議員・国土交通大臣政務官、金井康夫県議会議員、星野稔市長に同席いただき、視察・協議の場を設けさせていただき、現場視察から関係者との協議を行わせていただいた。解決は容易ではないが、所有権者も含め、国・県・市のそれぞれが連携をし、打開策を見出して対応していきたい。



関係者集合での挨拶



源泉管理路からの現場視察



関係者との協議会



協議会～散会の様子

相談②

今宮川 雑木伐採浚渫要望

白沢町上古語父・下古語父地区内を流れる今宮川の河川内に長年にわたり土砂が堆積してしまつたことにより、雑木が群生してしまつている状態である。さらに、群生した雑木の成長は種子の飛散を招き、近隣の田畑に影響を及ぼしている。また、土砂堆積により河川自体が浅くなつてしまつており、増水時の安全性が確保されていない状況だと思われる。これらのことを踏まえ、雑木の伐採及び堆積した土砂の浚渫工事の要望があった。



PROGRESS

今宮川（田沢川含）の河川管轄は調査の結果一部、沼田市の部分であったが、砂防指定地に関しては、ほぼ全域砂防指定地は群馬県管轄であることから、金井康夫県議会議員を通じて、群馬県沼田土木事務所に繋いでいただき、対応してもらつた結果、今年度内では予算の範囲内で雑木伐採撤去を行い、次年度以降、浚渫工事を行う予定となつた。

相談③

利根町追貝原の農道舗装化

利根町追貝原平地内の未舗装農道の舗装化の要望をいただいた。当該農道は、道幅は狭く、未舗装路ということで、深い轍ができ、農作物を積載した軽トラは、車体底と路面が接触してしまい、非常に危険である。また農道と畑との境界も曖昧になっていることから、舗装化の相談を受けた。



PROGRESS

要望を受け、当局と協議を行った結果、下図の赤線が舗装に関する要望を受けている部分であるが、予算などの都合上、まずは一部を先行して、令和四年度中に舗装化することとなった。関係者の皆様に感謝致します。



相談④

白沢町内道路振動問題

白沢町内の道路を原因とした振動問題に悩まされる近隣住民の方から相談があった。調査のため現地に赴くと、確かに、大型車両が通行すれば振動があり、落ち着いて生活していることは難しいと考えられ、早急な対応が必要と考えた。



PROGRESS

私が相談を受けた住民の方以外にも同僚議員に相談があり、早急な対応を当局には行ってもらつた事ができた。また、取り纏めの役を金井康夫県議会議員に取り持つてもらい、一部ではあるが、着工という状況となっている。

相談⑤

玉原高原十二沢の獣害柵設置

昨年から相談を受けており、令和四年一月号の後援会会報誌でも報告をした、玉原高原十二沢の獣害被害への対応の進捗がみられたので報告をする。水芭蕉の群生地が獣害被害にあつており、花芽が食い散らかされてしまつている状態であった。



水芭蕉の群生地

獣害で食べられている①

獣害で食べられている②

PROGRESS

実験的ではあるが、水芭蕉の群生地を守る目的で、一部ではあるが群生地周辺に獣害対策用の柵を設置する方向で動き始めた。効果が出れば今後も対策を実施していくこととなるだろうが、状況を見ながら大切な自然環境を守りつつ、観光資源に繋がればと考えている。



令和4年1月号での報告

山宮としお

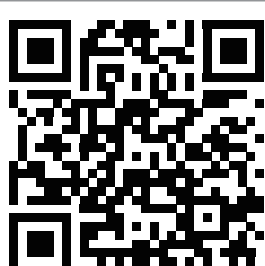
後援事務所

〒378-0121 群馬県沼田市白沢町高平4-7
株式会社ミヤマエンジニアリング内
TEL: 0278-53-2512
FAX: 0278-53-3034
E-mail: info@y-109.jp
URL: https://y-109.jp

山宮としおの情報は
公式サイト・SNSから

山宮としお

検索



オンライン後援会入会始めました

コロナ禍ということも踏まえオンラインでの後援会入会を始めました。

下のQRコードを読み取っていただき専用フォームから手続きを行ってください。

最大5人の入会手続きが可能です。

山宮としお

コロナ禍により、私達の生活に制限がかかり2年半が経ちますが、そこに来てのロシアによるウクライナ侵襲が起き、益々その先行きが見えなくなつてきました。そして世界情勢は混乱が始まり、燃料の高騰や原材料の高騰、さらにはコロナによる過剰な程の円安ドル高と様々な面で私達の生活にのしかかっています。新型コロナウイルスの生活スタイルに移行していく方向で動き出しました。それに伴い経済活動も活性化していくことで、社会が苦境な時こそ政治の責任は大きく、沼田市民の皆様の支えが保てるよう肝に銘じ、今後も活動して参ります。



ジョギングで市内各地を巡回しています